

<実施概要>

1 趣 旨

人格を形成するうえで重要な時期にある中学生が、学校生活や家庭生活などを通じて、日頃考えていることや実践していることを発表することにより、中学生自身が社会性や自主性を培うとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を深める。

2 主 催

豊田市青少年健全育成推進協議会

3 後 援

豊田市・豊田市教育委員会・豊田市PTA連絡協議会・豊田市子ども会育成連絡協議会

4 協 力

豊田市青少年育成アドバイザー会

5 募集対象

豊田市立中学校及び特別支援学校中学部在校生

6 意見文の内容

(1) 社会や世界に向けての意見、将来への希望や提案など

(2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど

(3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会のさまざまなできごとに対する意見や感想、提言など

以上、3つの中のいずれかに該当し、心に思い、考えていることや感じていることなどを、中学生らしい自由でユニークな発想で、飾り気のない言葉でまとめたもの

7 募集期間

平成31年3月13日（水）～平成31年4月26日（金）

8 応募の状況

豊田市立中学校合計28校から7, 104点の応募があった。今回は、特別支援学校からの応募はなかった。

9 審査日程

(1) 第1次審査（作品審査）

令和元年5月24日（金）午後6時～午後8時

豊田市役所 東大会議室1

各中学校から推薦された28名の作品を審査し、10名を選出した。

(2) 第2次審査（意見発表審査）

令和元年6月8日（土）午後1時30分～午後4時30分

豊田市民文化会館 小ホール

第1次審査で選ばれた作品は、第36回豊田市中学生の主張発表大会で、1人5分以内で発表。

優秀賞5名、優良賞5名、共感賞2名、WE LOVE とよた賞1名を選出した。

10 審査基準

第1次審査会（作文審査 令和元年5月24日）

審査項目	観点・留意点	配点
1 論旨・内容	①選んだ主題からはずれていないか	30点
	②中学生らしく清新で建設的であるか	
	③自己体験の中からの自分なりの視点や考えがあるか	
	④矛盾や飛躍はないか	
	⑤理論・知識のみに片寄り過ぎず具体的な主張がされているか	
	⑥対策や実践への意欲が感じられるか	
	⑦中傷・批判になっていないか	
2 表現	①文法的な表現の誤りや誤字・脱字はないか	10点
	②主張・訴えたいこと等、強調点が工夫されているか	
3 発表性	意見発表できる話し言葉になっているか	10点

第2次審査（意見発表 令和元年6月8日）

審査項目	観点・留意点	配点
1 論旨・内容	①選んだ主題からはずれていないか	20点
	②中学生らしく清新で建設的であるか	
	③自己体験の中からの自分なりの視点や考えがあるか	
	④矛盾や飛躍はないか	
	⑤理論・知識のみに片寄り過ぎず具体的な主張がされているか	
	⑥対策や実践への意欲が感じられるか	
	⑦中傷・批判になっていないか	
2 表現・音声・話し方	①発音が明瞭であるか	20点
	②音量や速度が適切であるか	
	③イントネーションが自然であるか	
	④抑揚・間のとり方など強調点が工夫され説得力のある話し方になっているか	
	⑤原稿の棒読みになっていないか	
3 態度	①発表する主張にふさわしく、少年少女らしい品位ある態度か	10点
	②眼のおきどころが聴衆を向いて、自然であるか	
	③過度のジェスチャーがないか	

1.1 審査員（順不同、敬称略）

豊田市立中金小学校	校長	鈴木 康代（審査員長）
愛知県西三河県民事務所総務県民課		中原 瑞樹
豊田市立童子山小学校	教頭	若山 敏美
豊田市立梅坪小学校	教務主任	水野 美和
豊田市教育委員会学校教育課	指導主事	朱山 純子
豊田市PTA連絡協議会	副会長	福田 政子
豊田市子ども会育成連絡協議会	上部役員	深見 和久
豊田市青少年健全育成推進協議会	会長	野上 孝之

1.2 審査結果

(1) 大会審査結果 ※学校名の五十音順

審査結果	中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
優秀賞	足助中学校	3	鈴木 こまち	思いやりの一言で
優秀賞	井郷中学校	3	平松 真依	「前向きに生きる」
優秀賞	豊南中学校	3	滝本 健人	やめる勇気 止める勇気
優秀賞	益富中学校	3	今井 奈那美	「考え方一つで」
優秀賞	竜神中学校	3	浜田 葵	「ありがとう、お姉ちゃん」
優良賞	猿投中学校	3	小寺 結依菜	「私のアイデンティティ」
優良賞	猿投台中学校	3	岩附 洵成	「少しの思いやり」
優良賞	藤岡南中学校	3	久保 璃奈	言葉の大切さ
優良賞	松平中学校	3	杉浦 奈音	後悔と葛藤
優良賞	若園中学校	3	加藤 百華	思い寄せ 復興の種を
奨励賞	逢妻中学校	3	上田 悠稀	誰かの役に立つために
奨励賞	旭中学校	3	伊藤 萌乃	旭を笑顔で満開に
奨励賞	朝日丘中学校	3	三岡 稜	嘘
奨励賞	石野中学校	3	深見 唯衣	「いつも一人だった日々」
奨励賞	稲武中学校	3	福地 玲奈	「当たり前」の壁
奨励賞	梅坪台中学校	3	大原 瑠千	一人ひとりの色
奨励賞	小原中学校	3	平野 由真	言葉のもつ力
奨励賞	上郷中学校	3	竹知 結美	「私にできること」
奨励賞	下山中学校	3	吉野 美々花	「二つの幸せ」
奨励賞	浄水中学校	3	末澤 結月	高齢者を支える地域へ
奨励賞	末野原中学校	3	豊永 灯	私にできる事
奨励賞	崇化館中学校	3	市村 優奈	小さな努力の大きな力
奨励賞	高岡中学校	3	岡元 遥香	自分らしさ
奨励賞	高橋中学校	3	大野 史夏	たとえ立場が違っても
奨励賞	藤岡中学校	3	伊井 真歩	友達
奨励賞	保見中学校	3	山田 聖夏	異文化を感じて学んだこと
奨励賞	前林中学校	3	清水 亜胡	「誰か」ではなく「自分が」
奨励賞	美里中学校	3	寺本 虎太郎	失ってから気づくもの

(2) 共感賞 (最も共感した作品として来場者の投票により選出)

中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
井郷中学校	3	平松 真依	「前向きに生きる」
竜神中学校	3	浜田 葵	「ありがとう、お姉ちゃん」

(3) WE LOVE とよた賞 (豊田市青少年育成アドバイザー会員の投票により選出)

中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
猿投中学校	3	小寺 結依菜	「私のアイデンティティ」

※ (2) (3) は、協力団体である豊田市青少年育成アドバイザー会から贈呈された。

1.3 有志ボランティア（氏名50音順、敬称略）

前回主張発表者が、有志ボランティアとして、報告書のイラストやキャッチコピーの作成のほか、当日の司会進行、発表者補助などの運営に参加。

富田 真亜玖・花岡 芽育・原田 優里 以上3名

1.4 参考

（1）少年の主張愛知県大会

豊田市大会で優秀賞を受賞した5名の作品を、西三河地区作文審査会へ推薦した。
その結果、豊田市から2名が少年の主張愛知県大会に出場した。

日時 令和元年8月23日（金）午後0時40分～午後4時

会場 犬山市民文化会館

結果	最優秀賞（愛知県知事賞）・共感賞（※）	井郷中学校	3年	平松	真依
	優秀賞（愛知県青少年育成県民会議会長賞）	益富中学校	3年	今井	奈那美

（※）共感賞…開催地犬山市の中学生の中から選ばれた6名が選考委員となり、最も共感できる作品を選出。